



# The Hitoyoshi Rotary

人吉ロータリークラブ

通算 3201 回  
2024年5月10日  
第36回例会

## Create hope in the world

### 世界に希望を生み出そう

2023～2024年度 R I 会長  
ゴードン R. マッキナリー

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎ 2171

例会場

事務局

清流山水花 あゆの里内 ☎ 6665 ☎ 6505



人吉ロータリークラブ  
ホームページ



f フェイスブックページ

[E-mail]

hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp

## 2023～2024年度 人吉ロータリークラブテーマ コ・クリエーション(共創)復興の希望を生み出そう

### 本日の例会

国歌斉唱・Rソング斉唱

会長の時間

幹事報告

出席率報告、会務報告 誕生祝い

Rの友紹介

2024～2025年度地区研修・協議会報告(後半)

寄付カード

点 鐘

北 昌二郎 会長

歌 唱

ソングリーダー 吉沢雅人委員

国 歌 「君が代」

R S 「それでこそロータリー」

司会・進行

プログラム

伊久美早利委員長

### 会長の時間

会長 北 昌二郎

皆さん、こんにちは、本日のご出席誠にありがとうございます。

長かったゴールデンウィークも終わり、日常に戻ったわけですが連休中は如何お過ごしでしたでしょうか。連休はどこにも出ないで自宅でゆっくりと言う方もいらっしゃると思います。とても正解な過ごし方だと思います。

3日、憲法記念日に熊本市民会館で行われました憲法フォーラムへ溝口県議からのお誘いもあり参加してまいりました。連休で渋滞するだろうと13時30分開会の3時間前に出ましたが、渋滞と事故が重なり山江サービスエリアまで1時間30分もかかり市民会館に到着したのは14時でした。正に連休中は自宅で過ごすという考えに納得した次第です。4日みどりの日は緑の芝生の湯

之谷でゴルフをして、名物馬の背、203高地を回り楽しんで参りました。体調が良くなかったのですが、家内が喜んでくれたので一安心しました。

前後しますが、5月1日は人吉高校の奨学金給付式に行っていました。3年生4名 2年生1名の5名に奨学金と認定の楯をお渡ししました。今回は葉山副委員長に同行頂き、人吉ロータリー奨学金制度について説明して頂きました。葉山さんにはいつもいつもお世話になります。

5月8日は八代ロータリークラブ例会へ小笠原幹事と参加して参りました。ところ変われば色々な例会スタイルがあり大変勉強になり、また我がクラブの素晴らしさを再認識する機会にもなりました。

故伊久美寛志パスト会長と大変縁の深い法人会県連会長の藤井さんと同席させて頂きました。八代RCの最高齢会員は遠山さん88歳で写真館をされているそうです。挨拶の時間も与えて頂いた八代表敬訪問でした。

来週はいよいよ地区大会となります。膳所ガバナーの集大成であり、入会間もない会員さんには特に参加して頂きたい最大の行事です。今回は無理だった方も来年の三村年度地区大会には是非とも参加して頂きたいと切に願うものであります。

最後に、本年度の人吉ロータリーのテーマは「コ・クリエーション(共創)復興の希望を生み出そう」です。これまで復興川柳をご披露して参りましたが、現在は短歌ブームだそうですので、5・7・5・7・7で復興のうたを詠みたいと思います。

ある反省会で塚本ノミニが短歌の歌い方指導してくれましたのですが、笑わないでください。

君が言う、この町変わる、暇かかる

できるものなら TSMC来てほしい

手っ取り早い復興なんかないんだなー、時間はかかるけど地道に復興に取り組んで行こうという希望のうたです。

## 幹事報告

幹事 小笠原賢治

### 《4/26 臨時理事会承認事項》

#### 1号議案 5月24日例会変更の件

5月24日例会18:30より創立記念例会・新会員歓迎会とする。

#### 2号議案 慶弔規約 追加の件

会員の卒寿祝 記念品  
会員の白寿祝 記念品  
会員の百寿祝 記念品

を追加します。

### 《5/10 定例理事会承認事項》

#### 1号議案 球磨川音楽祭実行委員会代表 加登住亮氏より2024年8月23日・24日開催「第16回球磨川音楽祭」後援依頼の件

ポスター・チラシ・プログラム類における名義使用を承認

#### 2号議案 第3回クラブ協議会開催日変更の件

(6/14・6/21)を(5/31・6/14)へ変更

### 《連絡事項》

- ・5月ロータリーレート 1ドル 157円
- ・令和6年5月ガバナー月信地区ホームページ掲載
- ・インターアクト指導者研修会開催のご案内
- ・財団室NEWS 2024年5月号
- ・認定NPO法人ロシナンテスより情勢報告会

### 今後の例会予定

5月17日 休会  
5月24日 クラブ創立記念例会・新会員歓迎会  
18時30分～  
5月31日 クラブ協議会前半  
6月7日 賀寿会18時30分～

## 出席率報告

委員 吉野孝司

現 会 員 数	48名	出席免除会員数	0名
出席義務会員数	48名	<b>本日の出席率</b>  <b>79.17%</b>	
欠 席 者 数	10名		
出 席 者 数	38名		
免除会員出席数	0名	ZOOM(2) 会場(36)	

## 【親睦委員会】

### 5月誕生祝い

平田フク会員 9日 小笠原賢治会員 15日  
吉沢雅人会員 30日



## 【雑誌委員会】

ロータリーの友5月号紹介

委員長 春木 顕

ロータリーの友5月号の紹介です。

まずは4ページのR I ゴードンR. マッキナリー会長のメッセージから。

今月はR I 会長が年間を通してフォーカスされた「メンタルヘルス」の取組についてです。昨年1月の提言「世界的なメンタルヘルスシステムが存在しないからといって、機能していないとは言えない。同時にロータリーがそのシステムを築く力になれる」という強い希望から始まりました。その後、ロータリアンがなん十件ものメンタルヘルスプロジェクトを立ち上げ、多くの皆さんがその諸活動を人々に伝えるよう、仲間のロータリー会員に進めたことも重要であったと評価されています。

今月の会長のメッセージの最後は、「この雑誌を読み終えたら、My ROTARYのラーニングセンターにアクセスし、短い動画を含む「より大きなインパクトをもたらす」をぜひチェックしてください。」と呼びかけられています。ぜひ、アクセスしてみましょう。

7ページからは特集「青少年の育成を支援すること」です。青少年月間にちなんだ特集です。ロータリーの青少年育成支援プログラムは多種多彩ですが、そのひとつであるRYLA（ライラ：ロータリー青少年指導者養成プログラム）は、1959年に催されたセミナーを起源とするものです。今回の特集はこのRYLAの取組の紹介を通して、青少年と接するにあたり重大な責務である青少年保護について、我々が「学ぶ」ようまとめられています。

8ページには第2820地区、10ページには第2660地区でのRYLAセミナーのスケジュールとプログラム内容が紹介されています。いずれも、参加した青少年が考えを深めたくましく成長する姿を本人が実感し、周りの大人が評価していることが印象に残ります。個人的には第2820地区の「スポーツ鬼ごっこ」で戦術を考えて……というロータリアンの声から面白そうだと興味がわきました。

12ページは組織の経営や運営に携わる私たちが十分に理解する必要を感じた内容になります。それは「青少年との適切な距離を知りましょう」と題した、世代や文化などの違いから、成人と青少年との接し方には適切な行為と不適切な行為があるということを理解する必要性が必ずあるという内容です。ともすると私たちの価値観で青少年に接してしまいがちですが、大切なのは年長者であり社会経験の豊富な私たちが、いかに違いを理解して接するかということです。見ていただくとわかるように、「容認される」「容認されない」と区分けして、「身体的なやりとり」「言葉によるやりとり」「一対一のやりとり」「メールやインターネットでのやりとり」「プレゼント」とシチュエーションごとに紹介されています。もちろん、シチュエーションは状況や場面で逐一変化します。明確なルールも存在しません。ここに挙げられていること以外についても、

私たちの「これくらいは良からう」という感覚は通用しないということを肝に命じましょう。

18ページには能登半島地震への緊急支援が紹介されています。

縦組み4ページには、第2650地区第6組IM基調講演での福井県立若狭高等学校海洋学科教諭の小坂康之さんの「サバ缶宇宙へ行く～地産地消から地産地翔へ」と題した講演要旨です。

日本初の水産高校である福井県立小浜水産高等学校が初任校だった小坂さんは、就任早々から「この学校つぶれるで」という10年後に廃校となることを聞かされたそうです。ここから、生徒たちとともに、現場で膝と膝を突き合わせて地域にかかわることで、生徒も変わり、水産高校を取り巻く周りの見方も変わり、教員も変わっていったというお話です。私は読みながら、まるで10年くらい前の人気ドラマ「下町ロケット」を彷彿とさせるできごとがここにもあったのだと感心しました。その中でのサバ缶宇宙へということだったようです。この頑張りが、小浜水産高校の廃校ではなく若狭高校への統合となり海洋学科新設とつながったということですが、さらに面白いのは水産科から海洋学科となることで、さまざまな地域の声を聴く機会もでき、さらには大学の調査研究を生かした視点も得られたということでした。それは、学生時代に、主体的に取り組んできた対象を、人は大人になっても大事にしているという研究結果です。小坂さんの言葉を借りれば「学生時代にサボることを主体にした子は、サボるプロになる。一生懸命貢献することを主体にした子は、その後も貢献する人生を歩む」ということです。この研究を基に、新しくなった学校では「自ら調べ、じっくり考えることを主体的に取り組む子どもたちを育てよう」という目標が設定されたそうです。サバ缶を宇宙飛行士の野口聡一さんは「宇宙日本食」のひとつとして表現されているということからも、ここで学んだ生徒も教職員も幸せな学びの環境にあることを実感されているのではないかと感じました。

9ページには宮崎アカデミーRC伊勢由美子さんの紹介記事です。子どもたちの書いた詩や文に曲をつけて演奏するという音楽ボランティアをされています。いろんな青少年育成、奉仕活動があるんだあと感じさせられました。

13ページの日本人とお米のはなしには「米国はお米の国？」と題して、アメリカのおいしい米料理の話題です。お米は、欧米でも身近な食材であり親しまれていると知ることができました。

それでは今月も14・15ページ最下段から一句紹介して、ロータリーの友5月号の紹介を終わります。

「熱燗を しみじみと飲む 八代の忌」  
(奈良 田伏薫氏)

## 【次年度】

2024～2025年度 地区研修・協議会 報告（後半）

日時;2024年4月7日(日)

場所;熊本城ホール

ガバナー補佐・会長部会

会長エレクト  
岩井和彦

午前中のプログラム及び午後からの部門別協議会の内容は3月2日・3日に開催されましたPETSの内容とほとんど同じ内容ですので割愛させていただきます。

午後の部では、熊本第6Gで一期崎ガバナー補佐エレクトを中心に人吉・水俣・多良木・人吉中央・（芦北欠席）の会長エレクトでディスカッションを行い様々な意見交換ができ有意義な時間を過ごすことができました。特に一期崎ガバナーエレクトや多良木の成松会長エレクト・水俣の築地会長エレクトは会長経験者で私の他愛のない質問にも丁寧に答えていただき良話を聞けました。熊本第6Gは一年間チームワークが良いグループだと改めて気付かせて頂いた協議会でした。

国際奉仕部会

次年度国際奉仕  
委員長 青木一幸

- ・今年度の国際奉仕部門の活動方針は以下のとおりである。
- ①出前セミナーの実施、地区内で国際交流希望クラブとのマッチングサポートを実施
- ②ロータリー財団部門、米山奨学部門とタイアップしてグローバル補助金・地区補助金や米山学友等の関わり合いを通じて、より豊かな国際交流をバックアップしていくこと
- ③新たな国際奉仕部門として支援活動を模索する～県内在住海外の方への新たなサポート模索等委員間を立ち上げる
- ・姉妹クラブ締結においては締結書等のひな形もあるので、遠慮なく相談してほしい。
- ・なお、こうした活動を積極的に推進していくには、各クラブは地区補助金やグローバル補助金といった制度も有効に活用していくことが肝要である。

職業奉仕部会

次年度職業奉仕  
委員長 戸高克彦

職業奉仕部門では熊本東南RCの古田哲朗部門長が職業奉仕についてご自身の意見を始めに述べられました。先ず、ロータリー活動の中でも幅が広く難しいという事をいわれ、その通りだと思いました。本年度の活動方針としては「4つのテストの実践～職業奉仕のウィーサーブへ」です。

- ・ウィーサーブは（クラブでできる職業奉仕）というテーマです。
- ・4つのテストについては昨年が一番目の「真実かどうか」だったので今年は二番目の「みんなに公平か」のテストを掘り下げて考えるという内容でした。

1つ目のウィーサーブは人吉ロータリークラブ独自の活動が実践されていると思いました。チャレンジカップや人吉RC奨学基金、地域発展功労者表彰は地域への奉仕活動だと思いますし、先日能登にも行って頂いたキッチンカーでの活動は地域の枠を越えた心の支えにもなる活動であると思いました。職業奉仕部門での話ではありましたが、人吉ロータリークラブでは委



点 鐘 北 昌二郎 会長